

公益財団法人日米医学医療交流財団 アメリカ短期看護研修助成

研修報告書 (2017年度 助成者)

作成日 2017年11月11日

氏名 (フリガナ)	藤本 裕実 (フジモト ユミ)
研修地	アメリカ・オレゴン州ポートランド市
研修期間	2017年10月8日 (日) ~ 10月14日 (土)
所属機関名	北播磨総合医療センター
身分	看護部 看護師

私は海外でのホームステイやホームステイの受け入れ経験から、以前より海外留学に興味がありました。看護師として働くようになってからもその思いは変わらず、看護者として海外の医療現場を知りたいという思いが強くなりました。しかし、勤務が多忙なこともあり、なかなか行動に移すことができませんでした。看護師5年目になり、自分のキャリアプランについて考えた時に、海外の医療現場を知りたいという思いを捨てることはできず、看護師として勤務しながら参加できる研修がないか調べたところ、こちらの研修に出会い応募しました。

参加が決定してから出発までの間、自分がやりたかったことができることに喜びを感じながら仕事をしていました。出発時は関西からの参加が私だけだったこともあり少し緊張していましたが、同じ目標を持った仲間ばかりで、すぐに打ち解けることができました。研修期間中もみんなで食事をしたり、買い物や観光をしたりと楽しい時間を過ごすことができました。また、帰国後も連絡を取り合っており、この研修で出会った仲間は私の宝物です。

研修に参加を決めた理由として、様々な医療機関の見学を通して最先端医療について多方面から学ぶことができると思ったからです。また、マグネットホスピタルの認定を受けている病院とはどのような病院なのか、どんな医療が提供されているのか興味があったからです。マグネットホスピタル認定を受けているプロビデンスポートランドメディカルセンター、ポロビデンスセントビンセントメディカルセンターを見学させてもらい、日米の医療現場の違いやアメリカの最先端医療現場を身近に感じることができました。また、自己の看護について振り返ることができました。その中で私が驚いたのは、患者や患者家族の目がつくところに、転倒転落や尿路感染、褥瘡発生日などを貼り出していたことです。このような取り組みは、患者満足に繋がるとともに、看護の質の向上にも影響すると感じました。また、レクチャーを通してアメリカの看護の質の高さ、看護師1人1人の専門性の高さを感じました。看護の質の向上のためにも、看護師1人1人のスキルアップが必要だと思います。まずは自分の看護師としてのスキルを磨き、更に責任感を持って仕事に励み専門性を高めていきたいと思っています。

研修に参加し、様々なことを感じ、学び、看護師としてステップアップになったと思います。看護師として自分に何ができるか、今後のキャリアプランについて考える良い機会となりました。この研修で得た学びを今後の看護に生かしていきたいです。